義本年七
冒願出聞
縣有朋

梁架換費	三〇、〇〇〇 〇〇〇
長崎港浚渫費	三〇、〇〇〇 〇〇〇
長崎縣道開鑿費補助	三〇、〇〇〇 〇〇〇
福岡縣道路開鑿費補助	四四、五八三 〇〇〇
熊本縣西貫石鹽港費補助	三三、三三四 〇〇〇
熊本縣堤防修繕費補助	一四、四九四 〇〇〇
沖繩縣諸工費	三、〇八〇 〇〇〇
營繕土木費合計	八〇九、七四四 〇〇〇

（以下次號）

官省院廳府縣

○太政官號外　先般岩倉右大臣依願被免本官前右大臣ト稱シ本座ヲ聽サレ候ニ付待遇向ハ特旨ヲ以テ總テ現任官ノ通ニ被仰付候條此旨爲心得相達候事

明治十六年七月廿三日　太政大臣三條實美

叙任賞勳

○七月四日　任歩兵大尉　歩兵中尉從七位勳六等　渡邊之
○七月廿日　任檢事　大審院書記　羽野知顯
同　裁判所書記　安藤昇行

時事新報

清佛ノ關係ハ何等ノ狀態ニ推移ルベキヤ

佛國政府カ近來頻リニ安南東京地方ニ威權ヲ擅ニシ土地人民ヲ侵暴スルノ傾向判然タルヲ以テ其隣國清國政府ヲシテ大ニ疑惑ノ念ヲ懷カシメ進テコレニ干渉セントシテ遂ニ清佛兩國ノ間ニ一場ノ葛藤ヲ生スルニ至ラシメタリ依テ清國ノ大臣李鴻章ト佛國ノ公使トリクウト上海ニ會同シテ大ニ議スル所アリタレ𪜈兎角ニ落着ニ至ラス本月五日李氏ハ突然北歸シタリトノ電報ヲ得テ我靈ハ其事情ヲ詳知スルノ暇ナキモ取敢エズ其擧動ノ怪シムベキ所以ヲ論シタリキ然ルニ今回玄海丸ノ便ニテ本月十日上海發ノ通信ヲ得タルニ固ヨリ十分ト云フコハアラチトモ幾分カ李氏ガ北歸ノ意味ヲ窺知ルニ足ルヘキモノアリ李氏ハ六月廿八日ニトリクウ氏ト面談シ又其翌廿九日ニモ會合シ同日ノ夕刻李氏ハ非常ニ長文ノ電報ヲ北京ノ總理衙門ニ發シタリ此時上海ノ風戰ニテハ清佛ノ和議調ヒ清國ハ安南ヲ擧ケテ佛國ノ手ニ委シ佛國ハ清國ニ向テ安南ノ征討費ヲ要求スルヿヲ爲サズト約束シ二十九日李氏カ總理衙門ニ電報シタルハ此和議ノ次第ヲ上申シタルナリト云ヒタリ而シテ又過般來上海ニ滯在シ清佛兩國ノ和解ニ盡力スルトノ評判アリシ米國公使ヨンゲ氏ハ清佛談判モ既ニ落着ニ近ツキタルヲ以テ最早北京ニ歸任スルモ差支ナシトノ意カ上海ヲ去ルヿニ決定シ六月廿九日ノ午後ニハ李氏ヲ案内シテ居留地米租界ヲ遊覽シ其翌三十日ノ夜ニハ留別ノ宴ヲ張リ七月二日解纜ノ船ニ乘組ミ出發ノ筈ナリシガ總理衙門ヨリ李氏ノ許ヘ未タ返電ナキユエ留ホ不貲心ナリト思惟シタルカ二日ノ起纜ヲ延引シテ北京ノ來信ヲ待ツ樣ニナリシガ三日ノ夜ニ至リ總理衙門ヨリ頗ル長文ノ電報李氏ノ許ニ達シタリ此電報ハ何事ヲ報シ來リタルモノカ未タ漏レ聞キタル者ナシト雖ヒ察スルニ六月廿九日李氏ヨリ同衙門ヘ發シタル電報ノ返事ナラント云ヘリ然ルニ翌四日ノ朝李氏ハ一介ノ使チトリクウ氏ノ許ニ馳セ何事カ申送リ其夜半ヲ以テ突然天津ヘ向ケ北歸シタリ風說ニハ李氏ヨリトリクウ氏ヘノ使者ノ口上ハ拙者ハ最早安南事件談判ノ局面ニ當ルヿ能ハズ閣下御苦勞ナガラ北京ニ御越シアリテ總理衙門ト直接ニ御談判被下度トアリタル由ナリ

以上上海ヨリ通信ノ趣ヲ以テ見レバ六月廿八日ヰ廿九日ニ李氏トトリクウ氏ト相會シテ何事ヲ談判シタルヤ、又廿九日李氏ガ總理衙門ヘ發シタル長文ノ電報ハ何事ノ通信ナリシヤ、又七月三日總理衙門ヨリ李氏ノ許ニ達シタル同シク長文ノ電報ハ又何事ノ通信ナリシヤ、又其翌四日李氏ガトリクウ氏ニ送リタル使者ハ何等ノ用向ナリシヤ、一切コレヲ知ルニ由ナキハ勿論ナリト雖ヒ李氏トトリクウ氏トノ再三ノ會合、李氏ガ總理衙門ニ電報シタルヿ幷ニ同衙門ヨリ電報ヲ受取リタルヿ、及ビ李氏ガ突然ニ歸途ニ就キタルヿハ事實ナリ而シテ又別ニ臨ミテ李氏トトリクウ氏ト相往來面晤モセズ握手分袂モセザリシヿハ是又事實ナリ左スレバ虛心ニ李氏ノ擧動ヲ觀察シテ目下清佛兩國ノ關係ハ和戰孰レノ傾向最モ著シキヤヲ判定セントセバ何分ニモ次第ニ和熟ニ遠サカリテ次第ニ戰爭ニ近ヅクノ趣アリト云フノ外ナカルベシ殊ニ上海ヨリ最近ノ電報ニハ「七月十三日上海ニテ李鴻章ハ前職（直隸總督）ニ復任シ張樹聲（兩廣總督ニテ當今直隸總督ヲ代理ス）ハ廣東ニ歸任シ曾國荃（兩廣總督トシテ當今廣東府ニ在リ）ハ上京ヲ命セラレタリ而シテ安南ノ論議ヲ談判スル委任大臣ハ誰ニ命セラルベキヤ且將來如何ナル變更ヲ釀出スベキヤハ方今世上一般ノ問題タリ」トアリ此電報ニ依ルトキハ李氏ノ北歸ハ清佛ノ談判落着シタル故ニモアラズ又李氏ハ何事カ總理衙門ニ打合セノ用向アリテ北上シ不日再ビ南下シテ更ニ談判ヲ開ント云フコトモアラズ全ク郵報ノ上海通信ニアル如ク談判未決ノ際ニ李氏ハ最早談判ノ局ニ當ルヿ能ハズトテ突然天津ニ歸リ歸着早々直隸總督ノ任ニ復シテ談判ノ重任ヲ卸シタルモノト察セラル、ナリ左スレバ六月上旬以來全一ケ月ノ間清佛兩國ノ大臣ガ上海ニ相會シテ討議談論セシ勤勞ハ一朝忽チ水泡ニ屬シ今ハ又六月以前ノ舊地位ニ立戻リタルモノト云フベキナリ清國政府ハ安南爲中國所屬之邦ノ口實ヲ取消シタルカ未タ取消サザルナリ、屬邦安南ノ事ハ中國一切其責ニ任ズト明言セシカ未タ明言セザルナリ、安南ノ事中國ノ關スル所ニアラズコレト戰ヲ開クモ和ヲ講スルモ其土地人民ヲ奪掠スルモ總テ佛國ノ自由ニ任スベシト返答セシカ未タ返答セザルナリ、此等ノ事一モ決定スル所ナクシテ當局ノ清國大臣ハ天津ニ歸リタリ跡ニ殘リタル佛國ノ大臣ハ下世話ニ所謂初午ノ狸トモ云フベキ至極不都合不愉快ノ地位ニ在ルモノト云ハザルヲ得ズトリクウ公使ハ是ヨリ李鴻章ノ跡ヲ追ヒテ北京ニ至リ更ニ清國政府ト談判スベキヤ將タ頑然上海ニ踏止マリテ他ノ委任大臣ノ西下ヲ北京政府ニ要請スベキヤ或ハ又事務ノ都合アリト吹聽シテ一應本國ニ歸ルベキヤ是甚タ大切ノ場合ニシテ此一擧動ノ後來ノ政略ニ大關係アルヿ申ス迄モナキモノナレバトリクウ氏モ此難局ニ當テ進退ヲ決シ兼ネ或ハ事ノ次第ヲ本國政府ニ詳報シテ其訓令ヲ至ルヲ待ツガタメ當時尚ホ上海ニ滯在スルモノナルヤト想像セラルヽナリ知ラズ清佛兩國ノ關係ハ是ヨリシテ如何ノ事相ヲ呈出スベキヤ

雜報

○行幸延引　今廿四日日比谷練兵場ヘ行幸在らせらるゝ筈なりしは都合に依り御延引の旨仰出されたり

○御寄附　春日神社の義い格別の御由緒あれあるに付特旨を以て本月廿日金千圓御寄附在らせられたり

○故岩倉公の待遇　本日の諸達欄内にある如く故岩倉右府は薨去前願ひ依り本官を免せらるゝ前右大臣と稱し本座を聽さるゝたるにより特旨を以て待遇向は總て現任官の通りと仰付られたり

○葬禮　今度岩倉前右大臣の葬儀に付ては葬儀御用掛長杉宮内大輔以下諸員日々事務所へ詰切りにて諸事準備中のよしなるが右掛員の注意にて會葬者心得書と申すものを夫々へ配賦したるよー甚だよき考と申すべし昔日我日本に於て素袍麻上下などの禮服を着する時節にて諸禮儀も甚だ嚴格にて葬式に會する者は謹慎敬肅を主として專ら哀悼の情を表し祭事法會の座に列なると雖は坐作靜肅稍や頭を垂れて默坐する抔頗る禮の宜しきを得るものの多かりき然るに近年ヅボン、マンテルの禮服と變じたる以來會葬人等は擧動を見るに言語道斷なる事共甚だ多し行列中に在りて或は談笑し或は喫煙し喧々囂々些とも嚴肅なる狀貌なく或は編のヅボンに水色切れの襟飾りを着て揚々式場に臨み讀經の際も着帽のまゝ椅子に凭掛り居るもあるなど彼の西洋人等が黑色羽ひの喪服にて寒風炎天の折といへども帽を脫して柩に從ひ行くなどの禮式に慣れたる眼より見れば可笑しきなと限りなかるべし併し此度い掛員の注意にて心得書を渡したるとあれば明廿五日の葬儀にあい鳥羽僧正の人物畫を見る如き滑稽者に遇ふまじと難かるべし

○岩倉前右府薨後彙報　同公の葬儀は前號に記せる如く